

やればできるの事業姿勢で 適正処理にチャレンジ



南村社長

大和エンタープライズ株式会社

(愛知県江南市)

江南市郊外において、産業・一般廃棄物処理業の収集運搬、中間処理を行われている大和エンタープライズにおじゃまし、南村社長にお話をうかがいました。

——創業して何年ですか。また、事業をはじめられたきっかけは何だったのでしょうか。

南村社長（以下南村に略）「23年になりますね。創業は昭和47年、35歳の時に単身で大阪からまいりまして、江南市において一般廃棄物収集運搬の仕事をはじめたわけです。当初は何もかも一人でしたから大変でした。早朝4時から2tのパッカー車で生ゴミを収集し、午後から集金と営業を行っていました。いま思うとよくやっていたなど。でも、その時代の経験が現在の私と会社を成り立たせていると考えると感慨無量ですね。」

——最初は一般廃棄物からはじめたということですが、現在貴社の産廃と一廃の比率はどれくらいですか。

南村「約4対6です。事業の原点が一廃ですから、これくらいかなと思います。」

——廃棄物処理に対する基本的な姿勢を教えてください。

南村「割りばし一本の単位からリサイクルを考えた処理処分を行うことです。言葉でいう程簡単ではありませんが、“やればできる”の気概を大切に取り組んでいます。私たちがやってやるんだというスタンスではなく、皆さんの分別・リサイクルの代行をしているという謙虚な気持ちで仕事に取り組んでいます。」

——リサイクルの話が出ましたが、現在取り組んでいることがあれば教えてください。



社名/大和エンタープライズ株式会社 所在地/愛知県江南市上奈良町久保144番地 代表者/南村勝己 創業/昭和47年 従業員/33名 TEL/0587(54)4612
事業所/本社、リサイクル工場 営業種別/収集運搬、中間処理
取扱物品目/汚泥、廃プラスチック類、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

南村「江南市の資源ゴミの委託収集をはじめ、冷蔵庫やクーラーのフロンガス回収の委託業務、スチール缶やアルミ缶の分別回収などを行っています。また、昨年1月にはリサイクル工場を設置し、手選別による中間処理を行っています。」

——従業員教育で特に力を入られていることを教えてください。

南村「社内に安全委員会をつくり、事故のない職場づくりに取り組んでいます。おかげでこれまで大きな事故もなく来られたのが一番うれしいですね。また、月1回は幹部会を開き、従業員教育の在り方や営業問題も討議。改善すべき点は精力的に行い、かなり効果を上げてきました。」

——最後に将来展望を聞かせてください。

南村「施設や車両の機械化を行いつつリサイクルを推進し、事業の活路を開くことです。」